

第1回大阪府地域職域連携推進協議会 議事概要

■日時：令和5年3月22日（水）15時～16時30分

■場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）5階 特別会議室

議題1：第3次大阪府健康増進計画の令和4年度の進捗状況について

➤ 「第3次大阪府健康増進計画」の令和4年度の進捗状況について説明

【意見概要】

- 「歯科健診」について、調査の際は、定義を明確にしたほうが良い。
- 予算事業名「健康づくり気運醸成事業」の気運の「気」は「機」ではないか。
- 数値が悪化している指標もあるが、「概ね予定通り」という評価案について、何を基準に評価をしているのか。
- 数値指標は、分母が明確な指標もあれば、調査のたびに対象者がランダムに選定されるような指標もあり、それぞれ割合を示しても意味合い、正確性は異なるのでは。
- コロナ禍により健康寿命等に影響が出るのではないか。
- 健康寿命に関する新型コロナの影響については、がん検診の受診率の回復が良くないと言われている。また、ステージが進行してから医療機関受診している場合があり、中長期的にはその影響が出てくる可能性がある。
- 喫煙について、公立学校の敷地内全面禁煙の割合は。また、病院等の敷地内禁煙が100%ではないことに対する取り組みはどうなっているのか。
- ターミナルケアをやるような病院では、たばこについてある程度精神的な安定も含めてよしとする病院もある。
- アスマイルは非常に良い取り組み。将来的には様々な健診の場面で個人が健診を予約できるようなシステムの構築に結びつくと思う。

【事務局回答 概要】

- 「気運醸成事業」の「気」については、あえて「気持ち」の「気」を使っている。
- 毎年のPDCAの進捗管理においては、毎年度の取り組みについて予定どおり取り組みが進められているかを評価している。
- 数値指標は、指標により算出方法が異なる。最終評価においては出典を明示するとともに、統計的にも評価し、次期計画においては、国の動きも踏まえ検討していきたい。
- 公立学校の敷地内全面禁煙の割合は100%（事後確認結果）。病院等における敷地内全面禁煙は、それぞれの施設の事情により100%にはなっていない。

⇒事務局案について、了承。

議題 2 : 第 3 次大阪府健康増進計画の最終評価に向けて

- 「第 3 次大阪府健康増進計画」の最終評価のスケジュール、評価方法、データの出典元、健康づくり実態調査について説明

議題 3 : 第 4 次大阪府健康増進計画の策定に向けて

- 「第 4 次大阪府健康増進計画」の策定スケジュール、計画期間、国の動きについて説明

【意見概要】

- 健康づくり実態調査の歯の本数において「ブリッジを含まない」とあるが、ブリッジがかかっている両サイドの歯もカウントから除くという誤解を与える可能性がある。
- コロナ禍では共食の自粛を呼び掛けていたが、実態調査では共食に関する質問が含まれている。今後、共食について取り上げるというのは国の方針か。
- 計画期間 12 年間について、生活習慣病対策の結果が出るのは、脳卒中、心臓病、がんは 10 年から 15 年以上になるため、12 年というのは妥当。
- 母子健診、学校健診、職域等それぞれのライフステージで、健康を考える機会があり、それぞれで受け取るメッセージを繋げていくということがライフコースアプローチになる。ライフステージごとの健診や保健指導を横に長く繋げていくということを、アスマイルでできるのでは。

【事務局回答 概要】

- ブリッジの考え方について、歯科部門ともしっかり連携しながら調査の集計時に整理していきたい。
- 共食を調査したのは、府食育推進計画において指標にしているため。取上げの有無については、今後議論していく。

⇒事務局案について、了承。

議題 4 : 地域職域連携の効果的な展開に向けて

- 各圏域地域職域連携推進協議会の進捗管理について説明

【意見概要】

- 政令中核市の人口が府内に占める割合は大変多いため、政令中核市との連携を進めていただきたい。
- 「大学栄養士課程の学生が立案した事業の実践支援」とあるが、これはあえて「栄養士課程」にしているのか。現在、ほとんどの大学は「管理栄養士課程」になっている。

【事務局回答 概要】

- 事後確認し、必要に応じて資料修正する。

⇒事務局案（資料 4）について、了承。